世界史研究　　組　　番　　氏名

本時の目標：イスラームの伝播について理解しよう（2）

東南アジア交易と中国

（1）東南アジアのイスラーム化

①　１３世紀・・・諸島部を中心にムスリム商人・1＿＿＿＿＿＿＿＿教団が活動

⇒１３世紀末、2＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿島に東南アジア初のイスラーム国家成立

②　１５世紀・・・3＿＿＿＿＿＿＿＿王のイスラーム改宗⇒東南アジアイスラーム化進展の契機に

a　マラッカは最初、タイのアユタヤ朝に従属した。

b　15 世紀初め、明が派遣した鄭和艦隊がマラッカを中継拠点として利用するようになる。

・・・明の力を巧みに利用して、アユタヤ朝の支配から脱した。

d　明の艦隊の派遣が中止されたため後ろ盾を失った。

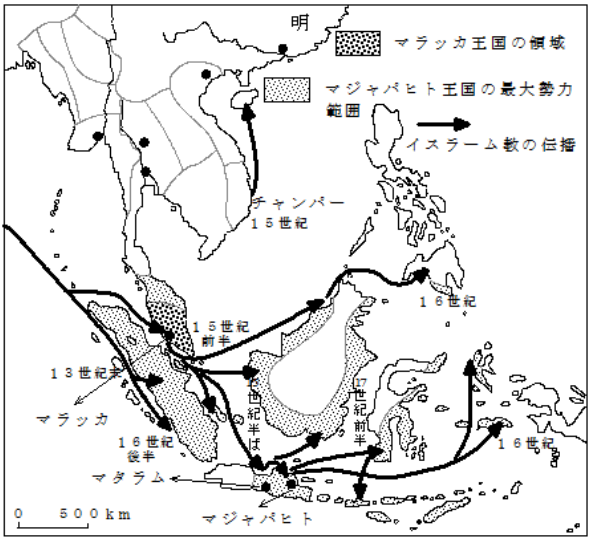
e　地位を保つためにイスラーム教に改宗し、イスラーム商人の懐柔を図る。

③　イスラームの拡大・・・マラッカを拠点⇒フィリピン・ジャワに拡大

イスラーム政権

・スマトラ：4＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿王国

・ジャワ：イスラームの5＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿王国



東南アジアへのイスラーム伝播

アフリカのイスラーム化

（1）ナイル川上流地域・・・イスラーム化以前の王国

① 6＿＿＿＿＿＿・・・前８世紀エジプト王朝を滅ぼす

⇒アッシリア侵入（前 667 年）でナイル川上流へ後退

7＿＿＿＿＿＿に都をおいた時代：製鉄・商業で繁栄、8＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿文字使用

⇒４世紀、エチオピアの9＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿王国により、滅亡

（2）西アフリカ諸王国

① 10＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿王国　金を豊富に産出・・・ムスリム商人の11＿＿＿＿＿＿＿と交換

12＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿朝の攻撃（1066/1077）による衰退⇒イスラーム化促進

② 13～16 世紀に興亡した王国・・・支配階級：イスラーム教徒

13＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿王国・・・「黄金の国」の呼称：マンサ＝ムーサ王

14＿＿＿＿＿＿王国・・・西アフリカの隊商都市の大半を支配⇒北アフリカとの交易で繁栄

③ 交易都市15＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿の繁栄・・・内陸アフリカのイスラーム学問の中心地

（3）アフリカ東岸地域の海港

・・・モガデシュを境に南北で異なる。

① 以北・・・アラビア・イランとの交易

以南・・・16＿＿＿＿＿・モンバサ・ザンジバル

キルワなどの海港都市

10 世紀以降、ムスリム商人のインド洋交易の拠点

⇒共通語17＿＿＿＿＿語

② ザンベジ川の南・・・１１世紀頃～18＿＿＿＿王国

⇒インド洋交易で繁栄

15世紀までのおもなアフリカの国家

インド洋交易・・・ 輸出：金・象牙

輸入：綿布　⇒繁栄を物語る遺跡・・・19＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

目標の達成度を５段階で評価しよう。	1――2――3――4――5
○感想と疑問点を記述してください。	